

現場社員の高齢化にお悩みの皆様

若手 施工管理

将来の幹部社員が採れて
企業が若返る！

採用成功セミナー

オンライン開催

2026年
6月29日30日
13:00~15:00

地方企業だからこそ成功する！
企業ブランディング×媒体攻略法を徹底解説

平均年齢50歳→39歳

を実現した成功事例の詳細は中面へ

申込はこちらの
QRコードから！↓



主催

地方で若手技術者採用セミナー

お問い合わせNo. : S142166



サステナブルグロースカンパニーをもっと。

Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

当社ホームページからお申込みいただけます。船井総研ホームページ<https://www.funaisoken.co.jp>（右上検索マークに「お問い合わせNo.」をご入力下さい）

142166

「地方だから、若手施工管理が採れない。」

長年、経営者の皆様から

「地方だから、若手の施工管理は採用できないですよね？」

「うちのエリアでは、若い人なんて集まらないですよね？」

というお悩みをお聞きすることが多くございます。

ただ、正直にお伝えさせていただくと

それは多くの場合、**“地方で勝つための採用設計”**ができていないだけかもしれません。

実際、地方企業に本社を置きながら、

毎年10名の若手施工管理を安定採用している企業があります。

成功体験談を、少しお読みください・・・



株式会社プロス
専務取締役 宮崎隆司 氏

高齢社員を抱える地方ゼネコンの 若手採用戦略！平均年齢50歳→39歳へ

1946年創業の弊社は、公共土木と民間建築を中心に事業展開し、売上は年間40億円ほどです。

父が4代目で、私で5代目になります。**10年前に入社してまず驚いたのは、**

社員の高齢化でした。当時は、20代・30代の施工管理が一切おらず、平均年齢は50歳。

正直、先の見通しがまったく見えず、ゾッとしました。

そこで取り組んだのが、**企業ブランドイメージの刷新**です。採用ホームページのリニューアルは
もちろん、SNSやナビサイト、合同企業説明会のブースなど、求職者との接点に

なる部分をすべて見直し、**競合に埋もれない魅せ方**へ変えていきました。また、

建設業の3Kイメージを払拭するために、**施工管理として働く楽しさや、若手が活躍している雰囲気**も積極的に発信しました。

その結果、応募が続々と集まるようになり、今では**毎年10名の若手施工管理を採用できていま**
す。さらに、**入社後の離職も少なく、平均年齢50歳→39歳へ若返りを実現。**

若手施工管理の採用・定着が進んだことで、**受注現場数も2倍にすることができました。**

若手の現場採用に悩む建設会社には、ぜひ当日の内容を聞いていただきたいです。

年収・休日はそのままOK

地方だからこそ、うまくいくー 企業ブランディング×媒体攻略



地方採用には、大きなチャンスがあります。

かく言う私も、以前は、**人口が少ないエリアで若手施工管理を採用するのは難しい**。そう感じていました。都市圏と比べると、若手の母数は少ない。大手企業のように、高い給与や休日条件を出すのも難しい。ナビサイトや合同説明会に出ても、思うように応募が集まらない。そうした現実があることも、よく理解しています。

でも、違ったんです。今回ご紹介した株式会社コプロスのように、**地方に本社を置きながら、毎年安定的に若手施工管理を採用できている企業**があります。さらに他社でも、**開始3か月で若手施工管理職の応募30件超、I・Uターン層を狙い、20～30代の施工管理を5名採用**といった成果を出している企業が、続々と増えています。

では、何が違うのか。ポイントは、**地域性に合った戦い方を選んでいること**です。

都市圏は、人の数こそ多いものの、大手企業や競合企業も無数に存在します。いわば、競合だらけのジャングルの中で、まず自社を認知してもらい、さらに比較競争に勝たなければなりません。その結果、広告費をかける。給与を上げる。休日数を増やす。福利厚生を厚くする。こうした**条件の積み上げゲームになりがち**です。正直、中小・中堅規模の建設会社がこの勝負に正面から挑むのは簡単ではありません。

一方で、地方では採用市場環境が全く異なります。地域の中で、「この会社、なんか良さそう」と思ってもらえる状態をつくることであれば、若手施工管理の採用は十分に可能です。

重要なのは、会社そのものを大きく変えることではありません。

変えるべきは、会社の“魅せ方”です。

採用ホームページ、求人票、SNS、合同説明会、会社説明会など、求職者との接点で、自社を誰に向けて、どのような言葉で伝えるのか。ここを整えるだけで、求職者からの見え方は大きく変わります。

本セミナーでは、地方建設会社が若手施工管理を採用するために、何から見直し、どの順番で取り組むべきかを成功事例をもとに具体的にお伝えします。

具体的には、

- ・若手に選ばれる企業ブランディングの進め方
- ・建設業にありがちな3Kイメージを払拭する情報発信のポイント
- ・採用ホームページ、求人票、SNS、合同説明会での見せ方
- ・地方でも若手応募を集める採用媒体の活用法 などです。

**「地方だから若手採用は難しい」
そう感じている企業にこそ、ぜひご確認いただきたい内容です。**

地方で若手技術者採用セミナー

地方で若手技術者を採用するために建設会社に取り組むべきこと

セミナー
開催日程

2026年

6月29日

6月30日

開催方法
・時間

オンライン開催

全日程:13:00~15:00 (ログイン開始:開始時刻30分前~)

【申込期日】銀行振込み:開催日6日前まで、クレジットカード:開催日4日前まで※祝日や連休により変動する場合もございます。

受講料

一般価格

税抜10,000円(税込11,000円)/1名様

会員価格

税抜8,000円(税込8,800円)/1名様

会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

セミナー内容

第1講座

地方企業の若手採用市場解説

若手採用をうまくいかせるためには、まず「採用市場の現実」を正しく知ることが不可欠です。本講座では、若手求職者の動き方や転職市場の実態を整理しながら、なぜ従来の手法が通用しなくなっているのかを解説します。正しい市場認識が、採用成功への第一歩です。

第2講座

若手技術者採用に成功している企業の成功事例

地方企業でも、若手技術者の採用に結果を出し続けている会社があります。成功している企業には、共通するルールがあります。本講座では、実際の成功事例をもとに、地方企業が若手採用で勝つための法則を紐解いていきます。

第3講座

明日から地方企業に取り組むべき若手採用

若手技術者の採用を成功させるために、地方企業が今すぐ選択すべき方法を厳選してお伝えします。採用競争がますます激化するなか、本当に機能する採用手法を明日から実践できる形で具体的に解説します。

講師紹介

株式会社 船井総合研究所

チーフコンサルタント 山本由結

BtoBマーケティングに精通し、業績アップ、人材採用、生産性向上、高利益化経営に関するコンサルティングを提供する。WEBマーケティングとブランディング戦略に深く精通しており、クライアントのニーズに合わせた戦略の立案と実行サポートが得意。その実績は社内トップクラスである。



お申し込み方法

本セミナーは当社ホームページより
お申し込みいただけます！

お申し込みは
こちら↓

右記のQRコードをスマートフォンなどで読み取りいただき、
お申込みフォームよりお申込みくださいませ。



船井総合研究所セミナー事務局【E-mail】seminar271@funaisoken.co.jp【TEL】0120-964-000(平日9:30~17:30)

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総合研究所 FAQ」と検索しご確認ください。

